

2023 年 奈良市観光入込客数調査

奈良市 観光経済部 観光戦略課



目次

第1章 2023年 奈良市観光入込客数調査の概要	P 1
1. 調査の期間	
2. 調査内容	
3. 利用上の留意事項	
第2章 奈良市観光入込客数	P 2
1. 観光入込客数（年間）	
2. 観光入込客数（月別）	
第3章 宿泊客	P 4
1. 宿泊客数（年間）	
2. 宿泊客数（月別）	
参考値 奈良市宿泊施設及び客室数の推移	
第4章 修学旅行	P 6
1. 修学旅行生数（年間）	
2. 地域別修学旅行生（宿泊）	
第5章 インバウンド	P 7
1. 外国人訪問者（年間）	
2. 外国人宿泊者（宿泊率・月別）	
3. 外国人宿泊者（国別）	
第6章 観光消費額	P10
1. 観光消費額	
2. 観光消費額の内訳	
3. 経済波及効果	

第1章 2023年奈良市観光入込客数調査の概要

1. 調査の期間

2023年1月1日から2023年12月31日まで

2. 調査内容

- (1) 観光地点等入込客数調査（延べ人数）
観光地点の管理者及び各種交通機関に対してモータリー調査し、集計を実施
- (2) 宿泊者数調査
ア 宿泊者（日本人・外国人）…「奈良県宿泊統計調査」のデータを基に推計

イ 修学旅行…奈良市保健所データを元に、市内の宿泊施設を対象にアンケート調査を行い、集計を実施
- (3) 観光消費額
奈良市観光入込客数調査及び県が行う「奈良県観光客動態調査」のデータを基に推計
- (4) 経済波及効果 **【New】**
平成27年(2015年)奈良市版産業連関表を用いた経済波及効果分析ツールを利用し、奈良市観光産業における経済波及効果を算出

3. 利用上の留意事項

- (1) 各数字は、四捨五入のため合計が合致しない場合があります。
- (2) 数値を引用する場合は、「出典：奈良市観光入込客数調査」を明示してください。

第2章 奈良市観光入込客数

1. 観光入込客数（年間）

■2023年の観光入込客数は、1,219.9万人（前年対比+31.3%）となり、前年を大きく上回りました。特に、宿泊客数はコロナ前の2019年を上回る174.8万人となりました。

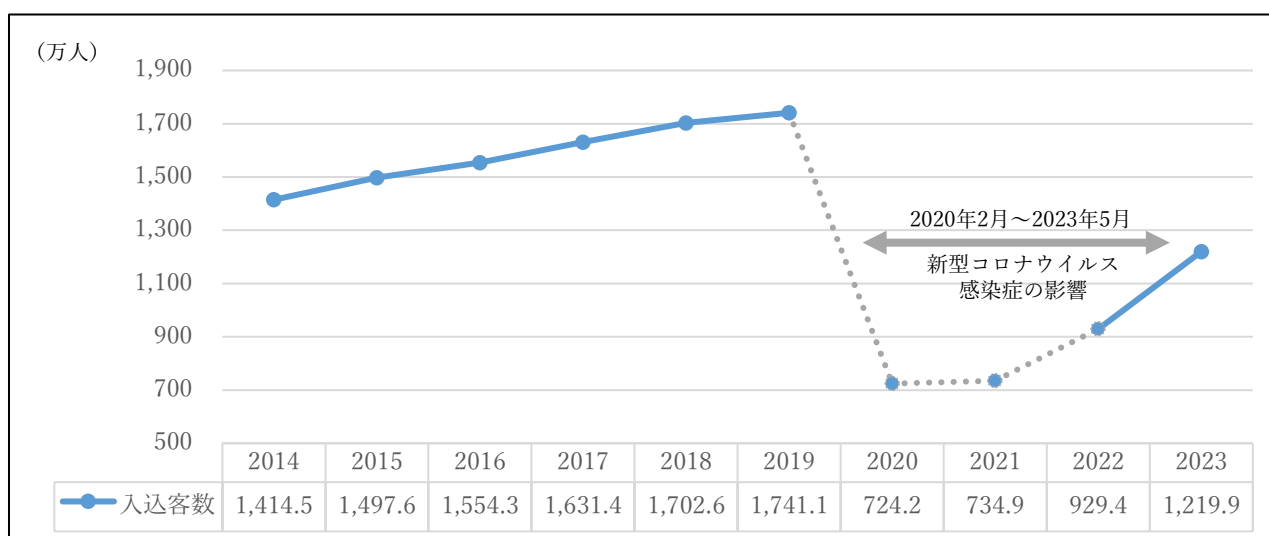
■日帰り客数は、2019年を大きく下回る1,045.1万人となっています。

図表1 奈良市観光入込客数

単位：万人

		2019年	2022年	2023年	前年対比(差)	2019年比(差)
一般	宿泊客	120.1	126.2	139.6	+10.6%(+13.4)	+16.2%(+19.5)
	日帰り客	1,206.9	726.1	818.8	+12.8%(+92.7)	-32.2%(-388.1)
	計	1,327.0	852.4	958.4	+12.4%(+106.0)	-27.8%(-368.6)
修学旅行	宿泊客	9.4	9.3	9.2	-1.1%(-0.1)	-2.1%(-0.2)
	日帰り客	72.9	49.1	67.9	+38.3%(+18.8)	-6.9%(-5.0)
	計	82.3	58.3	77.0	+32.1%(+18.7)	-6.4%(-5.3)
外国人	宿泊客	44.3	2.4	26.0	+983.3%(+23.6)	-41.3%(-18.3)
	日帰り客	287.5	16.3	158.5	+872.4%(+142.2)	-44.9%(-129.0)
	計	331.8	18.7	184.5	+886.6%(+165.8)	-44.4%(-147.3)
合計	宿泊客	173.8	137.9	174.8	+26.8%(+36.9)	+0.6%(+1.0)
	日帰り客	1,567.3	791.5	1,045.1	+32.0%(+253.6)	-33.3%(-522.2)
	計	1,741.1	929.4	1,219.9	+31.3%(+290.5)	-29.9%(-521.2)

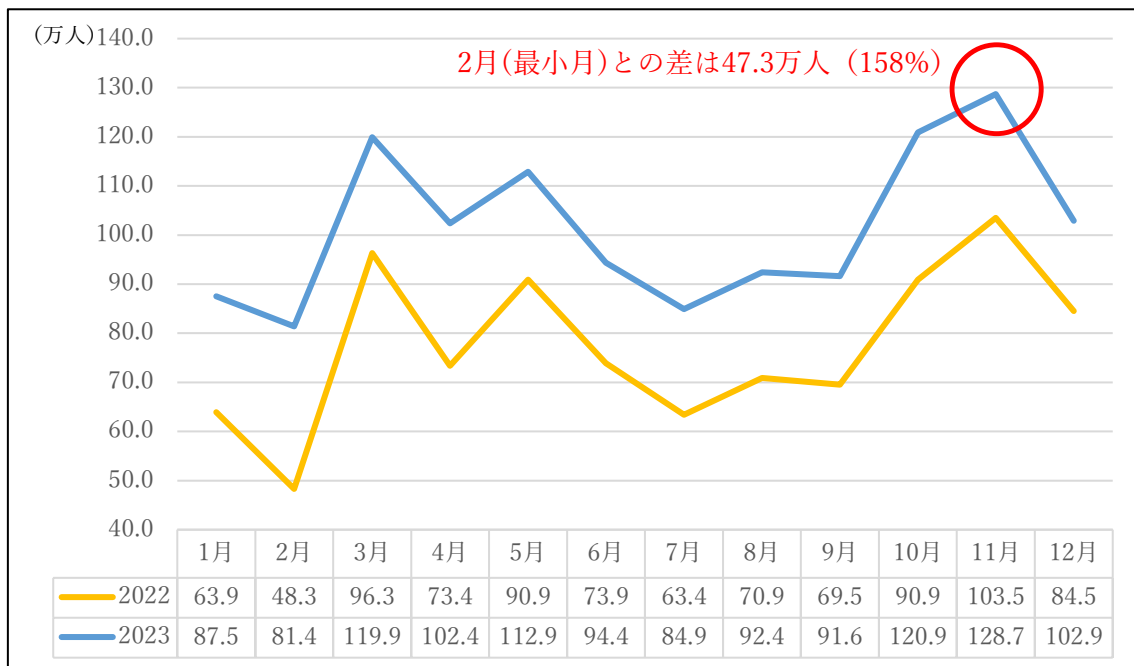
図表2 奈良市観光入込客数の推移（10年間）



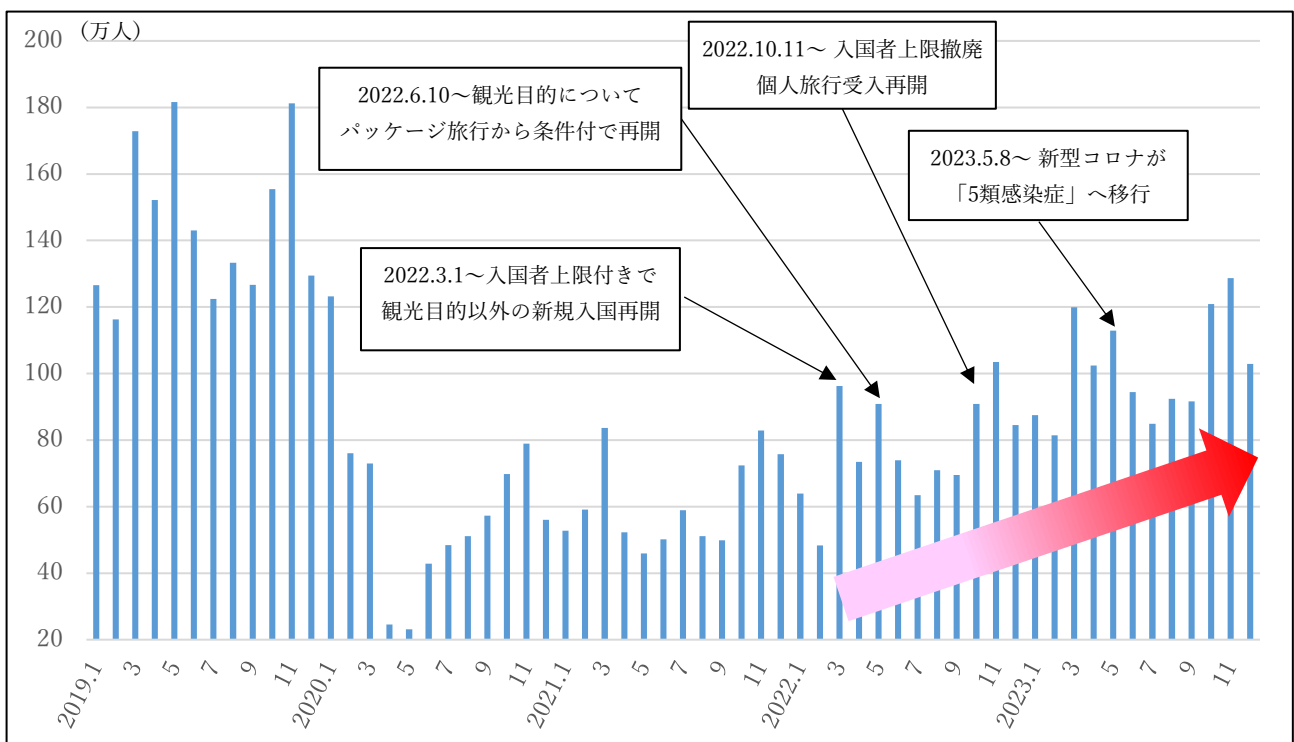
2. 観光入込客数（月別）

- 月別の観光入込客数は、全ての月において、2022年比120%を上回る結果となりました。
- 2023年2月（最小月）と11月（最大月）の差は、47.3万人(158%)となり、2022年の55.2万人(214%)よりも繁閑差が小さくなっています。

図表3 月別観光入込客数



図表4 月別観光入込客数の推移（5年間）

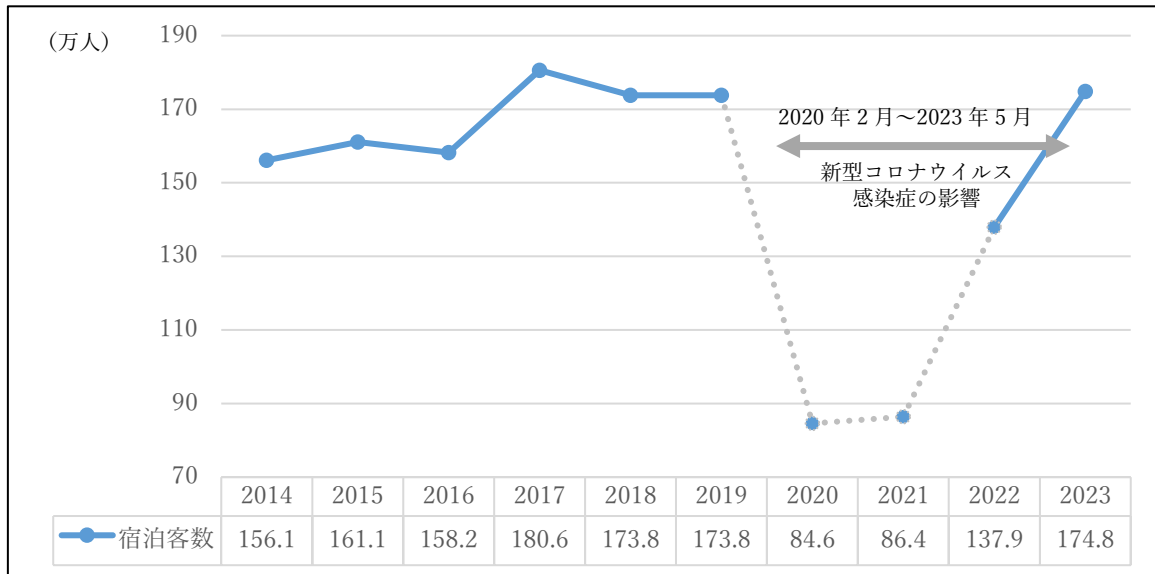


第3章 宿泊客

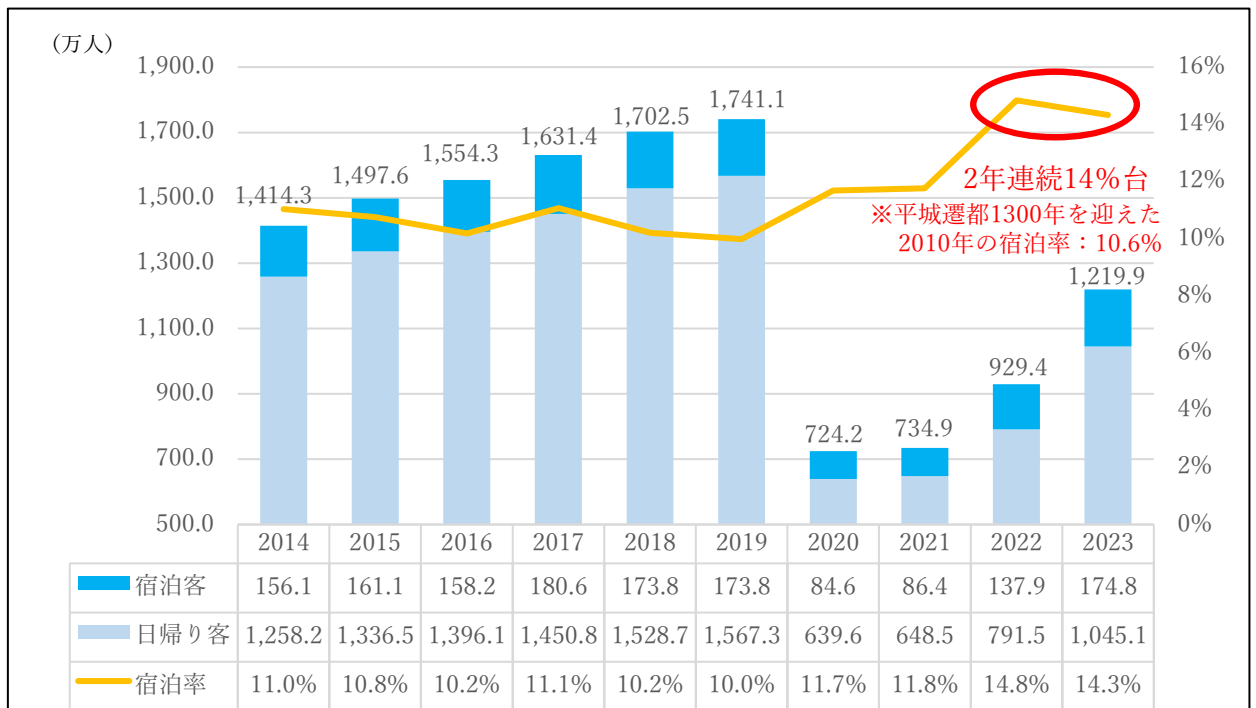
1. 宿泊客数（年間）

- 宿泊客数は、「いまなら。キャンペーン 2023」が実施されたこともあり、コロナ前の2019年を上回る174.8万人となり、大きく回復しました。
- 宿泊率は14.3%となり、2022年に引き続き高水準で推移しました。

図表5 年間宿泊客数の推移（10年間）



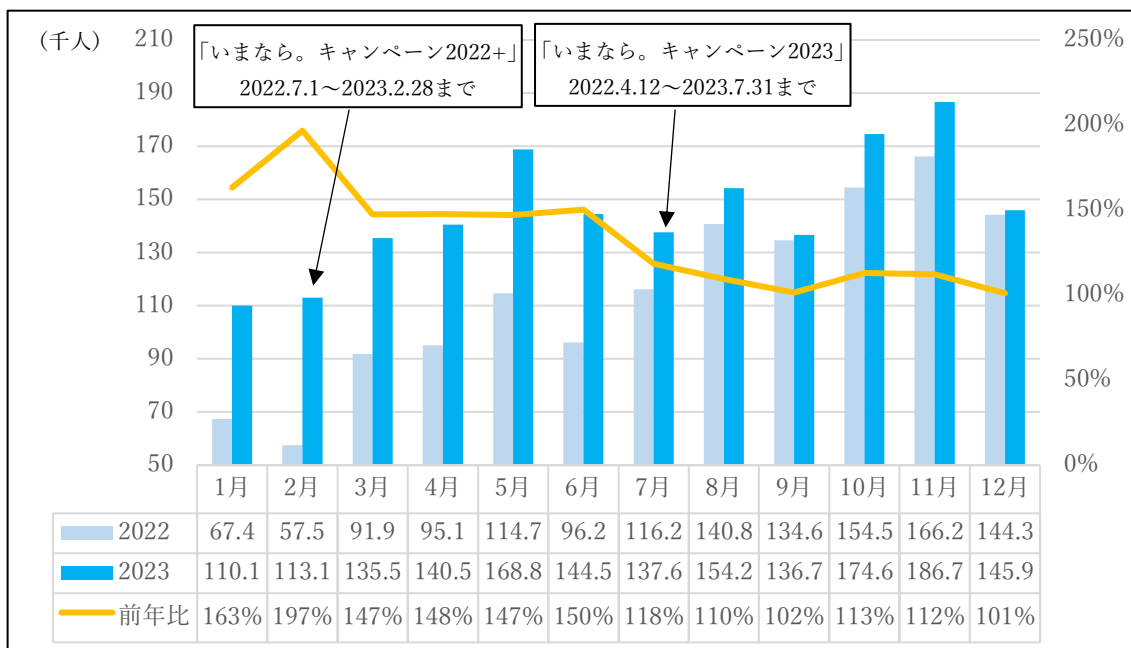
図表6 宿泊率の推移（10年間）



2. 宿泊客数（月別）

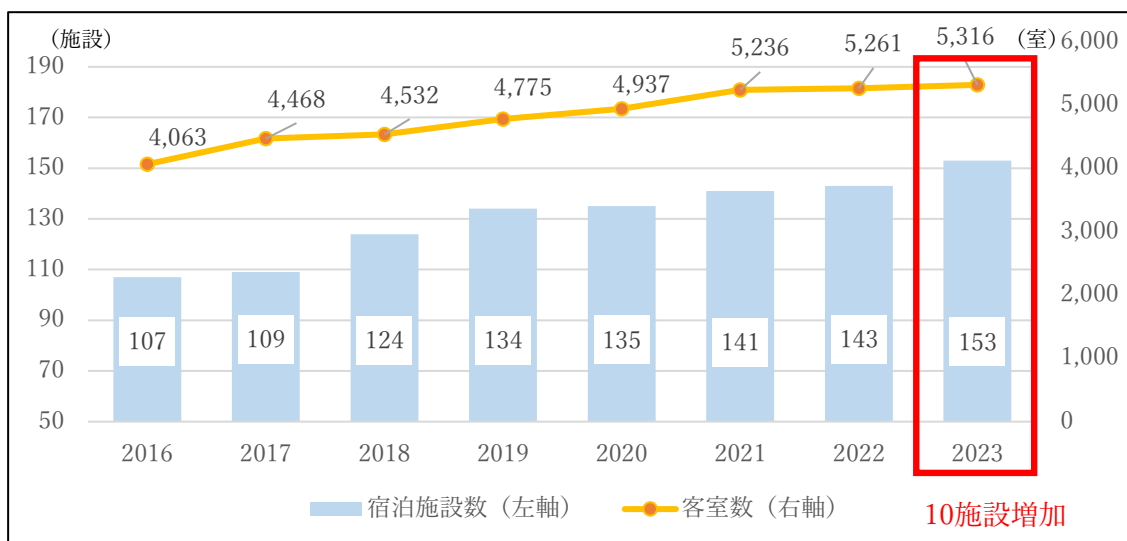
- 月別の宿泊客数は全ての月において、2022年を上回る結果となりました。
- 「いまなら。キャンペーン2023」が終了した後の2023年8月～12月においても、前年を下回ることもなく、堅調に推移しました。

図表7 月別宿泊客数



参考値

図表8 奈良市内宿泊施設及び客室数の推移



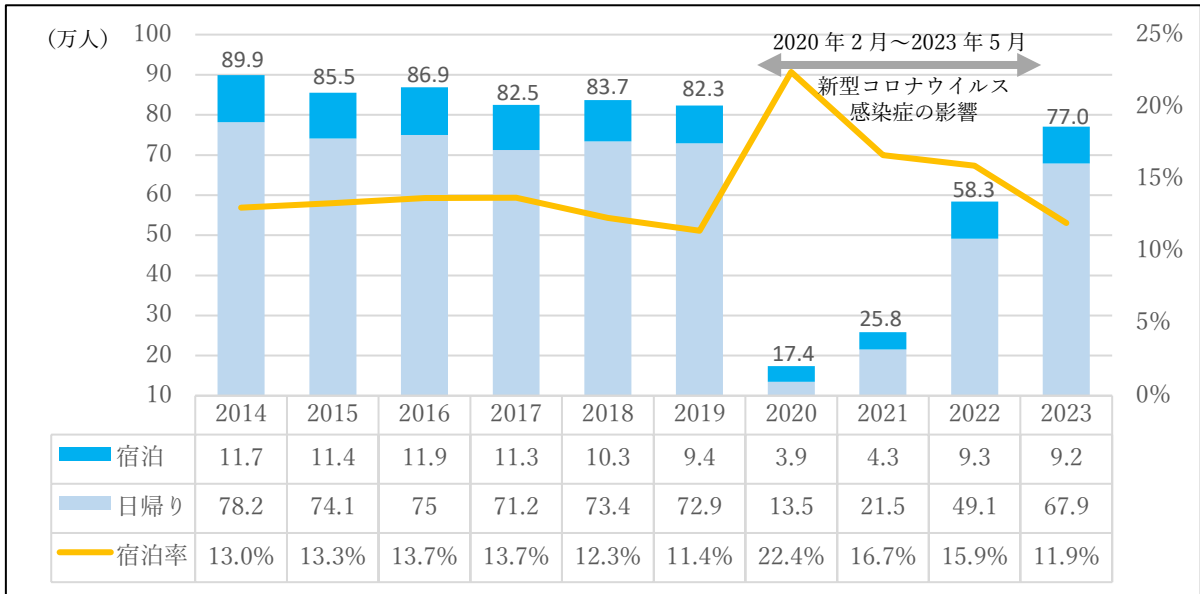
※厚生労働省「衛生行政報告例」および奈良市保健所データをもとに奈良市作成

第4章 修学旅行

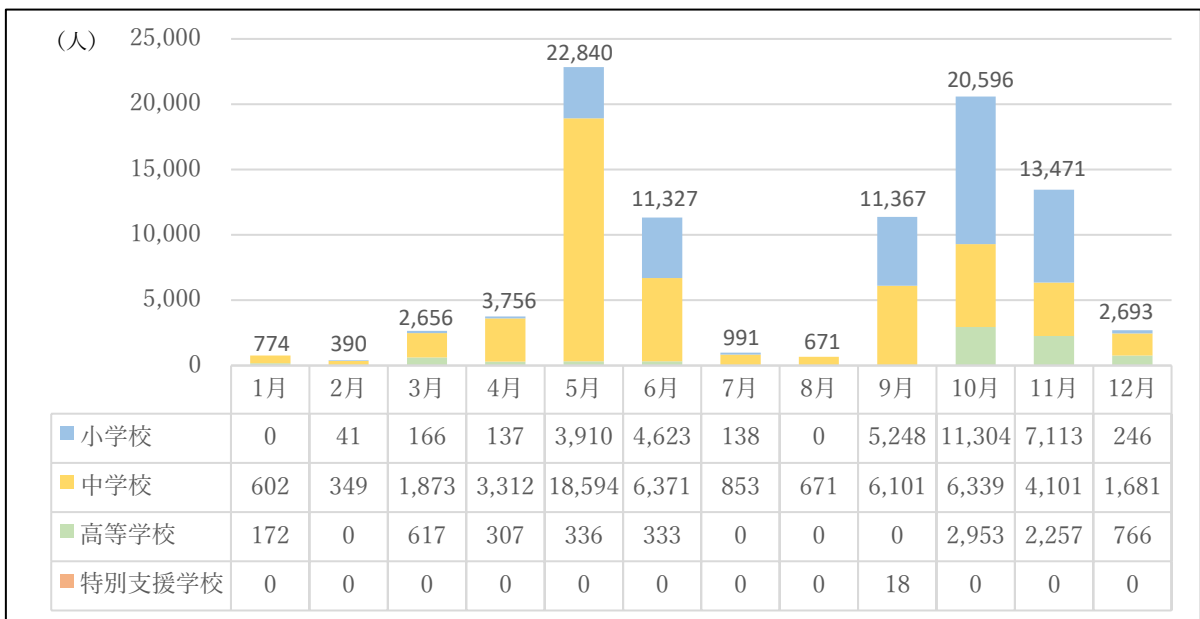
1. 修学旅行生数（年間）

■2023年に奈良市を訪れた修学旅行生は、77.0万人でした。

図表9 修学旅行生数の推移（10年間）

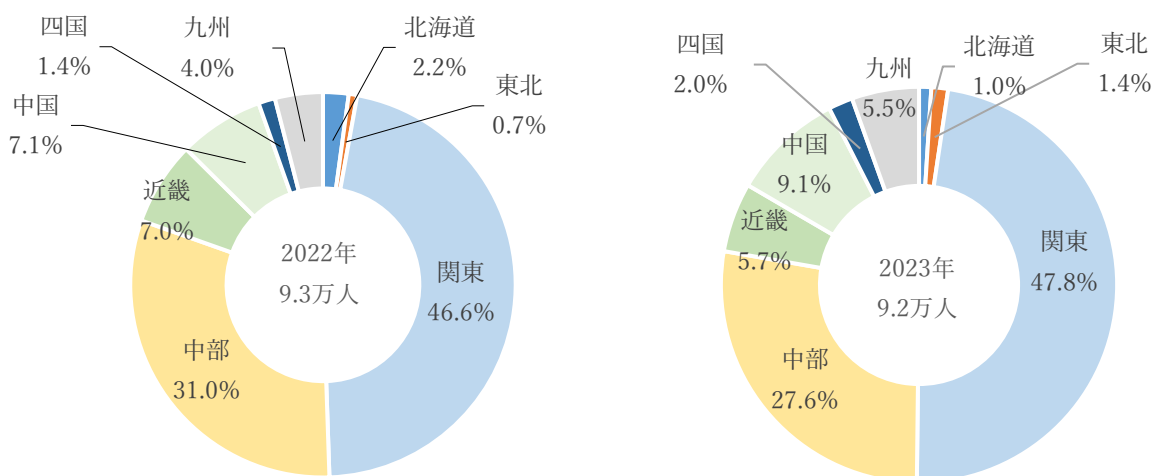


図表10 月別宿泊修学旅行生数（2023年）



2. 地域別修学旅行者（宿泊）

図表 1 1 宿泊修学旅行者数 地域別割合

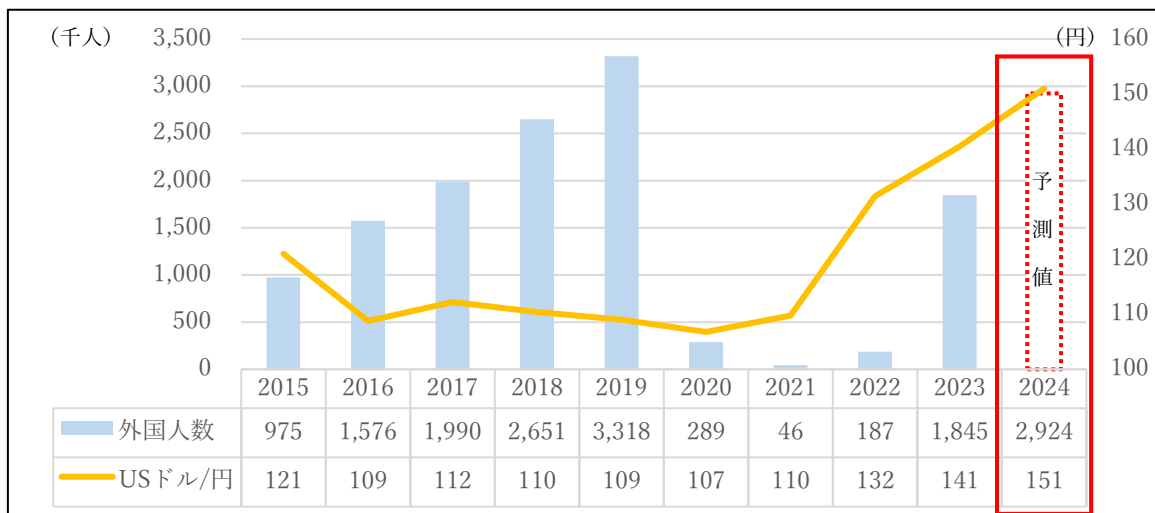


第5章 インバウンド

1. 外国人訪問者（年間）

■外国人訪問者数は184.5万人（前年対比886.6%）と回復しています。2024年は、コロナ前の2019年比で約9割まで回復する見通しです。

図表 1 2 奈良市外国人訪問者数



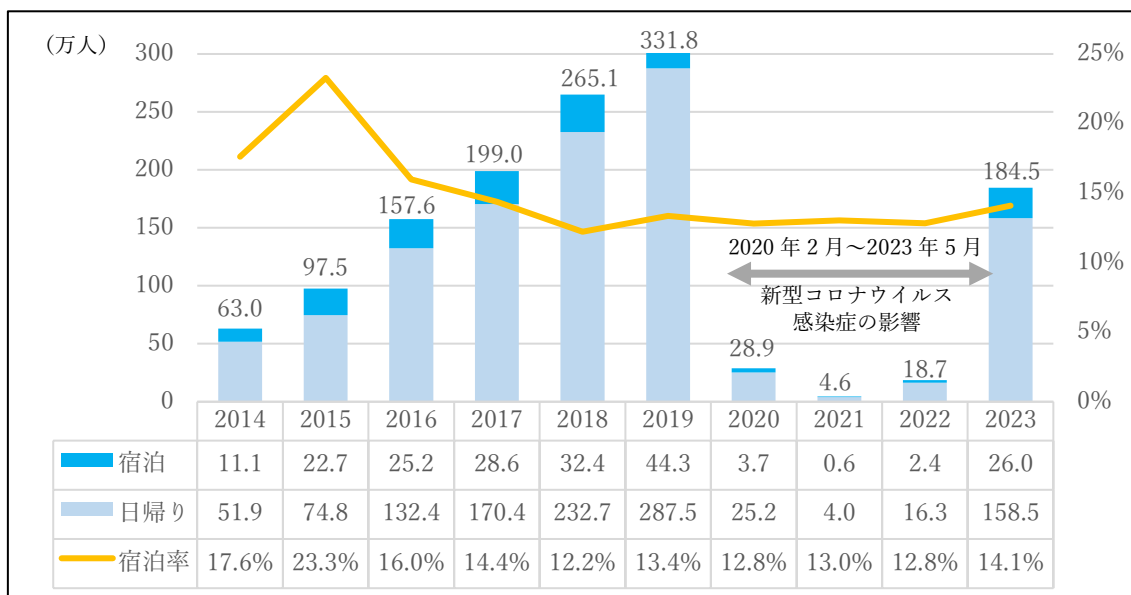
※奈良市外国人訪問者数の予測は、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数・出国日本人数」のデータを基に予測モデルを作成して算出しています。

※為替レートは、年間の平均レートとなり、2024年は1月から5月の平均レートとなります。（出典：IMF）

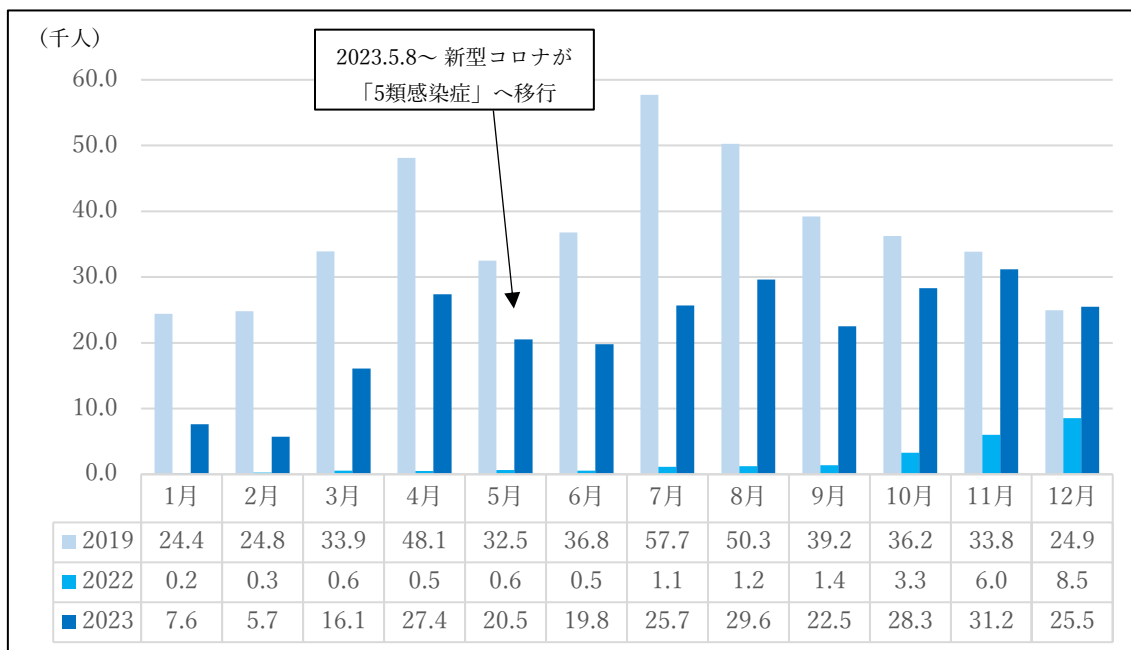
2. 外国人宿泊者（宿泊率・月別）

- 外国人宿泊者数は、2019年の水準には回復していないものの、26万人(前年対比+983.3%)に回復しています。
- 宿泊率は、前年より1.3%上昇しているものの、2017年以降は横ばいで推移している状況が続いています。

図表1-3 外国人入込客数の内訳及び宿泊率（10年間）

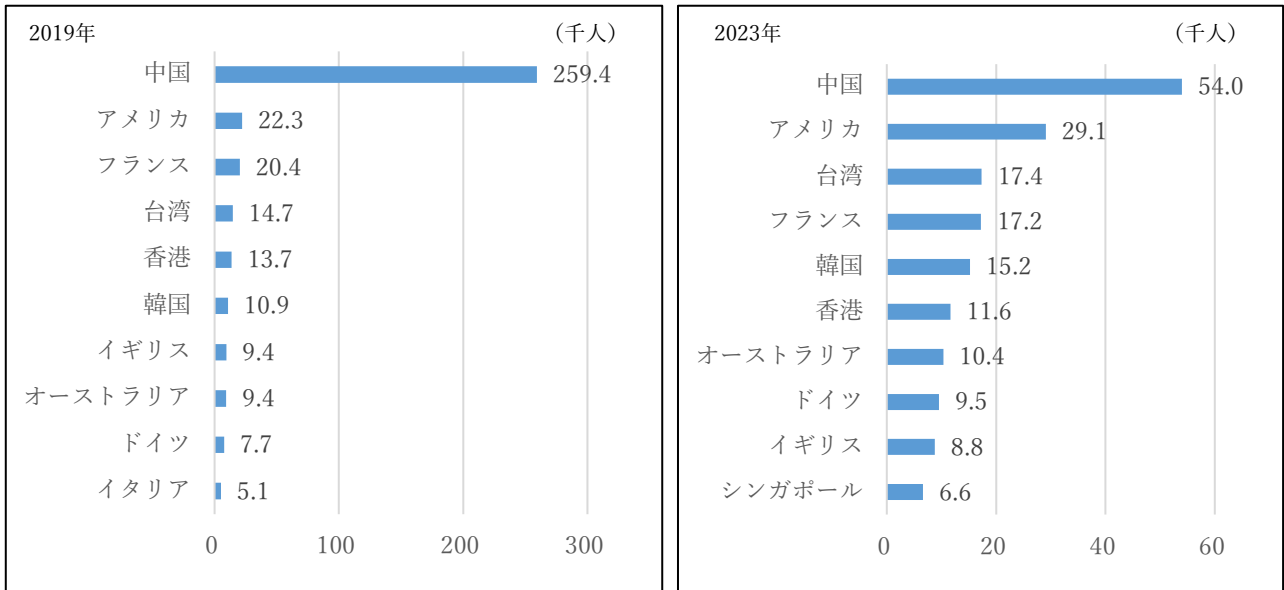


図表1-4 月別外国人宿泊者数

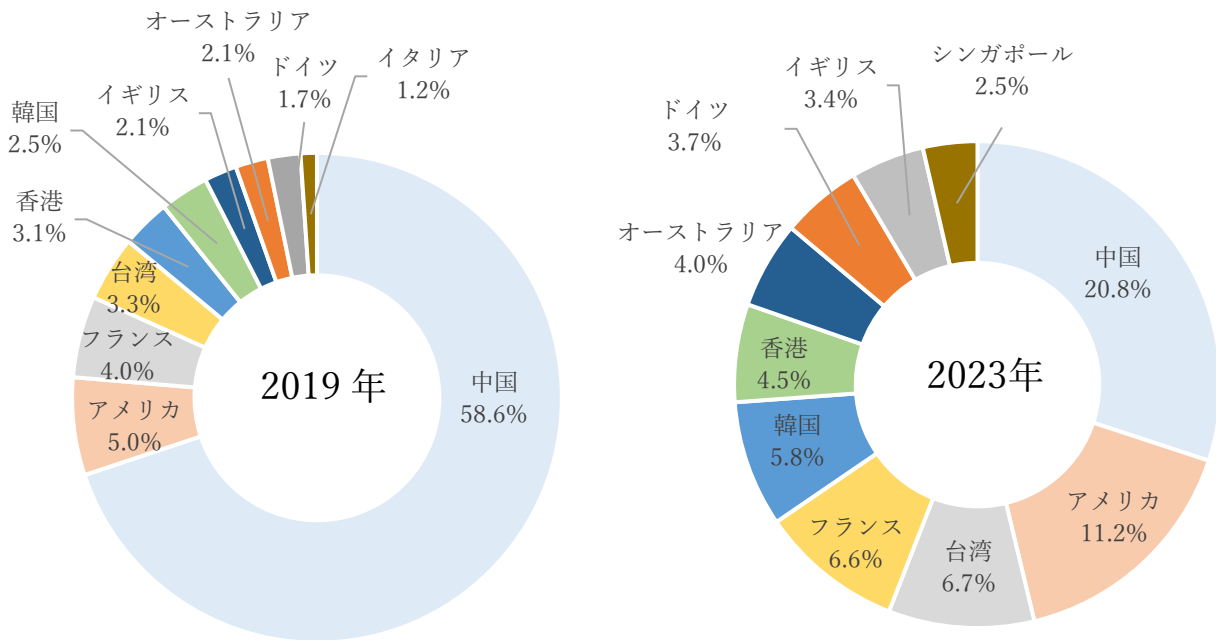


3. 外国人宿泊者（国別）

図表15 国別外国人宿泊者数ランキング（上位10か国）



図表16 国別外国人宿泊者数シェア（上位10か国）



第6章 観光消費額

1. 観光消費額

■2023年の観光消費額は、宿泊客が509.4億円、日帰り客で485.3億円となり、合計で994.7億円となりました。

図表17 奈良市内の観光消費額（全体）

	観光消費単価	観光入込客数	観光消費額
宿泊客	29,141円	174.8万人	509.4億円
日帰り客	4,644円	1,045.1万人	485.3億円
合計	—	—	994.7億円

参考値

図表18 奈良市内の観光消費額（うち外国人）

	外国人観光消費単価	外国人観光入込客数	観光消費額
宿泊客	30,094円	26万人	78.2億円
日帰り客	6,217円	158.5万人	98.5億円
合計	—	—	176.7億円

(注) 調査手法の変更により、2023年の数値は2022年の数値と時系列による単純比較は出来ない。

2. 観光消費額の内訳

■2023年の観光消費額の内訳としては、宿泊客の宿泊代金が15,115円と最も多く、次いで飲食費の6,632円となりました。

図表19 奈良市内の観光消費額の内訳

観光消費額		
区分	宿泊	日帰り
市内交通費	1,498円	761円
宿泊代	15,115円	—
買物代	3,371円	908円
飲食費	6,632円	1,650円
入場料・拝観料	2,269円	1,132円
その他（体験費用等）	256円	193円
合計	29,141円	4,644円

(訪問者1人当たりの平均金額)

3. 経済波及効果

■2023年の奈良市観光における観光消費額が生み出す経済波及効果は、857億円と推計しています。

図表20 経済波及効果（全体）

直接効果	新規最終需要の発生により誘発される生産増加であり、ここでは観光消費額が市内産業の生産額に直接的に貢献する効果	648億円
第1次間接波及効果	直接効果によって生産が増加した産業で必要となる原材料等を、他産業から購入することで新たに発生する効果	118億円
第2次間接波及効果	直接効果と第1次波及効果で増加した雇用者所得のうち消費にまわされた分により、各産業の商品等が消費されて新たに発生する効果	92億円
経済波及効果	最終需要（観光消費額）がその産業の生産を誘発するとともに、それにより次々と各産業の生産をも誘発していく効果	857億円

※「奈良市版産業連関表」分析ツールにより算出